

2025年2月 胎内市江尻集落 市政報告会

2025. 2. 16

胎内市議会議員 薄田 智

市政トピックス 明るいニュース

◎胎内市へのふるさと納税が非常に好調（これまでの実績推移）

【実績】2024年度は2025年1月末現在の実績です。

年度	件数	納税額（千円）	備考
2017年度	1,679件	57,109千円	
2018年度	1,795件	57,589千円	
2019年度	14,597件	455,812千円	有望サイトに広告掲載する
2020年度	29,533件	1,201,853千円	返礼品お米小分け配達開始
2021年度	54,013件	2,436,468千円	コロナ巣籠需要で好調
2022年度	50,986件	2,146,830千円	パンフレットやSNSを活用
2023年度	45,702件	2,206,715千円	コロナ禍後も堅調を推移
2024年度	49,085件	2,469,847千円	好調を維持している

※ふるさと納税額の約5割が経費となり支出される。（内訳：返礼品3割、委託料1割、送料1割）

2023年度でみると一般会計繰入11億円、返礼品6.6億円、委託料2.2億円、送料2.2億円

【人気返礼品】1月末日現在 寄附金ベース

人気順位	返礼品	比率
1位	お米	99.0%
2位	双眼鏡	0.24%
3位	地ビール・ワイン	0.21%

◎胎内市 2025年度当初予算案

(1)一般会計の総額

193億6900万円 対前年度比 額:5億800万円 率:2.6%マイナス

(2)主な事業

NO	事業名	事業額万円	内容
1	合併振興基金活用事業補助金交付事業	2,833	合併振興基金を活用し、地域の活性化事業について補助金を交付する。また、地域コミュニティの維持・活性化に向けて補助金を交付する。 優遇型…事業費の4/5を補助(50万円) 一般型…事業費の2/3を補助(30万円) (昨年比1,933万円増)
2	大学・高校・地域連携推進事業 【新規事業】	535	地域活性化と人口減少対策の一環として、都市地域から地域おこし協力隊1名を招致し、新潟食料農業大学および開志国際高等学校との連携促進・サポートの取組を行う。
3	移住定住促進事業	764	胎内市への移住及び定住の促進を図るために、お試し移住体験事業のほか移住体験フェアへの参加を行う。
4	第3次胎内市総合計画等管理事業	808	2027年度から始まる第3次総合計画及び総合戦略策定の委託料他

5	胎内市政施行 20 周年記念事業	381	記念式典を実施する。予定日 11 月 1 日
6	空き家等解体事業	1,000	危険な空き家が解体されることで市民の安全が確保されるように解体費用の一部を補助する。費用の 1/2 を補助、上限 100 万円
7	産官学連携特産品開発実証事業	150	特産品の開発を目指すため、市内農業者、新潟食料農業大学、JA 及び胎内市で組織される「たいない特産品研究会」への補助金
8	有害鳥獣対策事業	1,680	農作物や人身へ被害を及ぼす鳥獣の被害対策の補助を行う。昨年比+570 万円
9	小学校 ICT 推進事業	5,278	ICT(情報通信技術)を活用した教育環境及び教職員の配置を推進していく。 昨年比+1,432 万円

◎ 防災・減災への対策と取組について

防災行政無線システムの再整備事業が今年 8 月末の完成に向けて受信機や屋外スピーカー増設整備を進めている。また、専門性を高めた防災・減災行政を進めるため、新たに防災・消防行政に特化した防災対策室を設けるとともに、防災の知見を兼ね備えた気象の専門家である「気象防災アドバイザー」を配置する。(4 月 1 日付で総務課内に設置する)

◎ 中学校の再編について

中学校の再編について、引き続き、胎内市の中学校における望ましい教育環境の整備に向けた方針を定め、準備委員会を設置するなどして具体的な準備を進めていく。

◎ 生涯学習施設の整備について

より実現性の高い事業計画になるように検討を進め、具体的な施設計画と整備方法を盛り込んだ基本計画をまとめ、速やかに議会及び市民に示していく。

◎ 胎内市政施行 20 周年事業について

11 月 1 日に記念イベントの開催を計画している。具体的には庁内プロジェクトチームにおいて順次議論しながら進めていく。

以上